WAVIO AV SYSTEM

POWERED SPEAKER SYSTEM

LX-1J

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

特長

- ■ 音の広がりを実現する「SDホーン[*1]」とサイズを超えた低音を実現する「TPDB[*2]キャビネット」を新開発
- ■ 聞く人のライフスタイルに合わせて様々な置き方ができる新提案「FL4FL[*3]」
- ■ コンパクトで持ち運びに便利な「1BOX形状＆2WAY給電方式」
- ■ 接続ケーブルも収納可能なアコースティックキャップ
- ■ 電池の残量確認ができるLEDインジケーター装備
- ■ 電池交換時に便利なカートリッジ式電池ボックス
- ■ 本体や付属品の持ち運びや収納に便利なキャリングケース付属

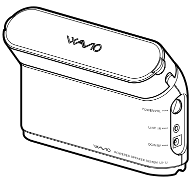
[*1]SDホーン（Super Dimensional Horn）
[*2]TPDB（Twin Port Double Bass reflex）特許出願中
[*3]FL4FL（Free Layout for Free Lifestyle）

- WAVIO®の名称、ロゴはオンキヨー株式会社の登録商標です。

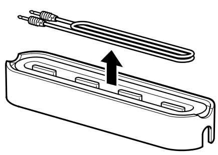
箱をあけたら、まず

ご使用の前に箱の中身をお確かめください。（　）内の数字は数量を表しています。

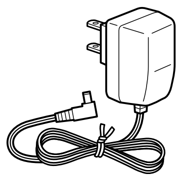
● LX-1J(本体)（1）



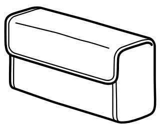
● アナログ入力用接続コード（1）
〔ステレオミニプラグ⇔ステレオミニプラグ〕
本体のキャップに収納されています。



● ACアダプター（1）



● キャリングケース（1）



中の2つのポケットに乾電池とACアダプターを入れることができます。

● 取扱説明書（本書1）
● ユーザー登録カード（1）

ご注意

- 梱包材や外箱は、修理および交換時の輸送用として使用する場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、お買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままではご使用にならないでください。
- 本機に付属している専用ACアダプター以外は絶対に接続しないでください。故障の原因となります。付属の専用ACアダプター以外のものを使用されたことにより本機が故障した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

⚠警告	誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△ 記号は「ご注意ください」という 内容を表しています。	高温注意　感電注意
⊘記号は「～してはいけない」という 禁止の内容を表しています。	分解禁止　ぬれ手禁止
●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。	電源プラグをコンセントから抜く　必ずする

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターのプラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■ 水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

カバーははずさない、分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■ 電源コードを傷つけない

禁止

- ACアダプターのコードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

ACアダプターが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

ACアダプターのプラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

■ ACアダプターに布や布団をかぶせない

禁止

熱がこもり火災の原因となります。

使用上のご注意

■ 本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機のダクトから異物を入れない
- 本機の上にダクトに入りそうな小さな金属物を置かない

■ 長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ 雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、ACアダプターに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

電池に関するご注意

■ 乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れる

■ 電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■ 不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。

■ 配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

ACアダプター・電源プラグに関するご注意

■ 表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

■ ACアダプターのコードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

■ ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■ 長期間使用しないときはACアダプターのプラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■ ACアダプターのプラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際はACアダプターを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてから行ってください。

使用上のご注意

■ 音量に注意する

必ずする

突然大きな音が出てスピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■ キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■ 移動時はACアダプターや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■機器内部の点検について

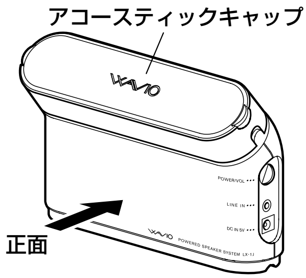
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をお勧めします。
本機の内部にほこりのたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■本機のお手入れについて

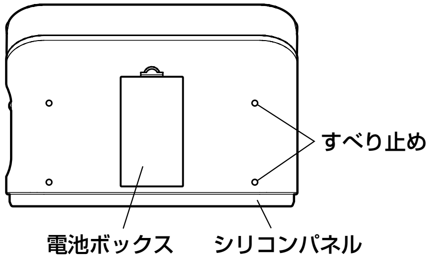
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

各部の名前と主な働き

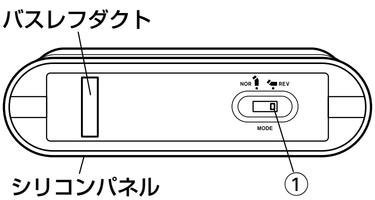
■ 全体図



■ 背面図



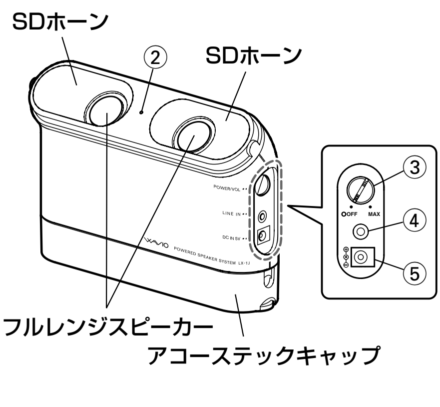
■ 底面図



ご注意

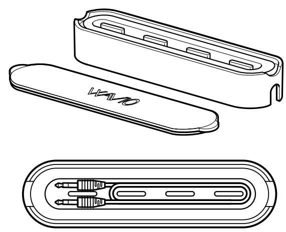
シリコンパネルは絶対に外さないでください。

■ 斜図



アコースティックキャップ

付属のアナログ入力用接続コードを収納しておくことができます。



コードを使用しないときは、図のように入れるとうまく収納できます。

① モード切換スイッチ（MODE）

左右の信号を入れ換えます。使用状態に合わせて切り換えてください。

② パワーインジケーター

電源・ボリューム調整ツマミを右に回し、電源が入ると点灯します。電池駆動時には、電池残量に合わせて色が緑→橙→赤と変化します。赤色になりましたら電池を交換してください。

③ 電源・ボリューム調整ツマミ（POWER/VOL）

電源スイッチとボリュームを兼用しています。ツマミを右に回すと電源が入り、徐々に音量が大きくなります。左に回すと小さくなり、OFFの位置まで戻すと電源が切れます。

④ 信号入力端子（LINE IN）

本機に信号を入力するための端子です。
φ3.5mmのミニジャックタイプの入力端子です。

⑤ ACアダプター接続端子（DC IN 5V）

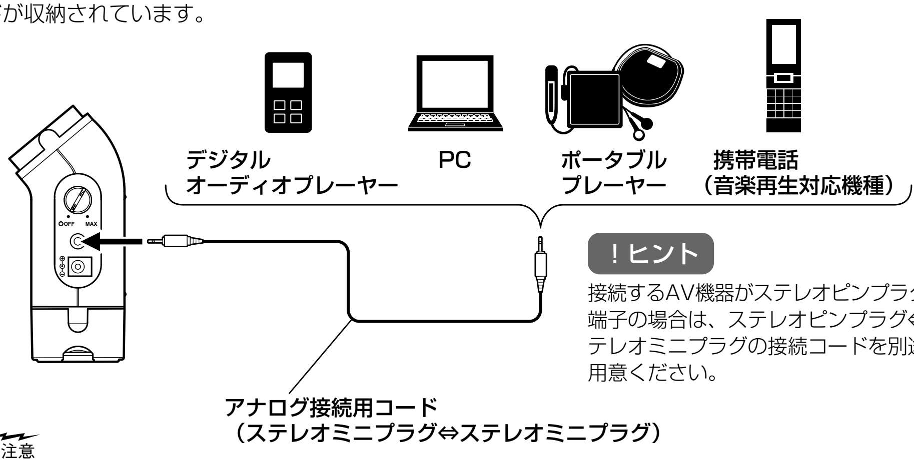
本機に電源を供給するために、ACアダプターを接続する端子です。

重要

必ず付属の専用ACアダプターをご使用ください。

外部機器を接続する

オーディオ機器、コンピューター本体またはサウンドボードのアナログ音声出力端子と本機のLINE IN端子を付属のアナログ入力用接続コードで接続します。
本機のアコースティックキャップを取り外しシリコンカバーを開けると、中にアナログ入力用接続コードが収納されています。



！ヒント

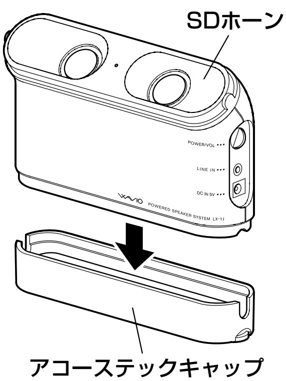
接続するAV機器がステレオピンプラグ用端子の場合は、ステレオピンプラグ⇔ステレオミニプラグの接続コードを別途ご用意ください。

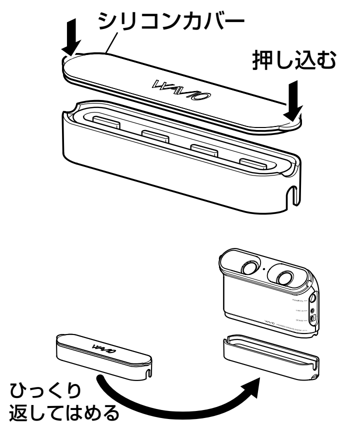
ご注意

- 付属のアナログ入力用接続コード、ACアダプターのコードは、いっしょに束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- すべての接続が終わるまで、ACアダプターのプラグをコンセントに差し込まないでください。

アコースティックキャップの使いかた

アコースティックキャップは、再生するときにバスレフキャビネットの役割をします。
底部にあるモード切換スイッチ（8ページ参照）をご使用方法に合わせて切り換えた後、本体の底に装着してご使用ください。



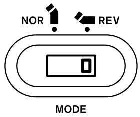


！ヒント

- 本機は、底にキャップをした状態でもっとも良い音質が得られるように調整されています。
- アコースティックキャップは、コードを取り出した後WAVIO（ウェビオ）と書いてあるシリコンカバーをしてください。このシリコンカバーは、両端を先に押し込んでから中央部に向かって押し込んでいくときれいに閉まります。

モード切換スイッチと設置例

モード切換スイッチでスピーカーの左右のチャンネルを次のように切り換えることができます。

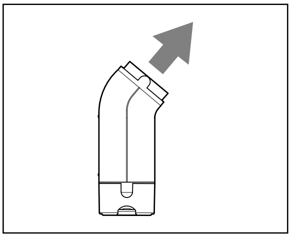


NOR（ノーマル）：ボリュームに近いほうのスピーカーが右チャンネルに、反対側が左チャンネルになります。

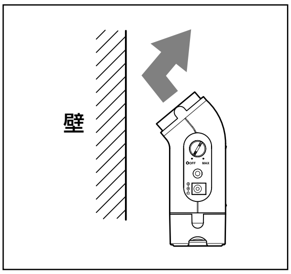
REV（リバース）：ボリュームに近いほうのスピーカーが左チャンネルに、反対側が右チャンネルになります。

本機の置きかたとモード切換スイッチの選択によって、聞く人のスタイルに合わせた設置方法が選べます。

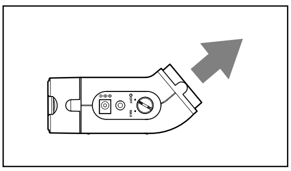
使用例：



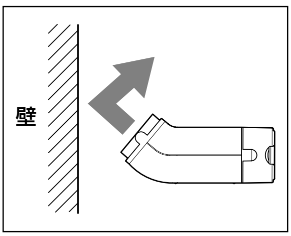
アップライト・ポジション
本機のスピーカーを聞く人の方へ向けて立てる、最も一般的な聞き方です。
この場合、ボリュームに近い側のスピーカーが右チャンネルになるので、モード切換スイッチは「NOR（ノーマル）」にしてください。



アップライト・リバース・ポジション
本機を壁などの近くに立て、スピーカーを壁に向かわせた聞き方です。音が壁に反射して拡がりのあるステレオ感が得られます。
この場合、ボリュームに近い側のスピーカーが左チャンネルになるので、モード切換スイッチは「REV（リバース）」にしてください。



レイダウン・ポジション
本機を寝かせて、スピーカーを聞く人の方へ向ける聞き方です。PC（パソコン）のディスプレイの下に置いたりする場合に利用できます。
この場合、ボリュームに近い側のスピーカーが左チャンネルになるので、モード切換スイッチは「REV（リバース）」にしてください。



レイダウン・リバース・ポジション
本機を壁などの近くに寝かせて、スピーカーを壁に向かわせた聞き方です。音が壁に反射して拡がりのあるステレオ感が得られます。
この場合、ボリュームに近い側のスピーカーが右チャンネルになるので、モード切換スイッチは「NOR（ノーマル）」にしてください。

電源を入れる

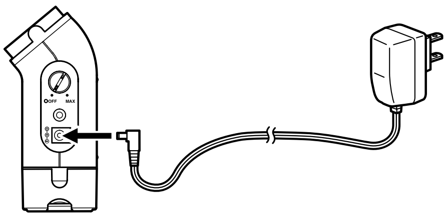
本機は、付属のACアダプターを接続して家庭用電源コンセントから電源供給する方法と、乾電池を入れて電源供給をする方法の二種類があります。

■ ACアダプターを使う場合

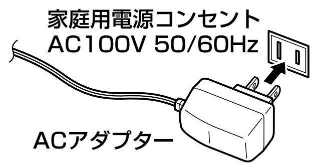
ACアダプターを使用する場合、乾電池が入っていても乾電池は消耗しませんが、外しておくことをお勧めします。

- 乾電池を使わない場合でもバッテリーケースは入れておいてください。

1. 付属のACアダプターを本機右側面のACアダプター接続端子（DC IN 5V）に接続します。



2. ACアダプターを家庭用電源コンセントに接続します。



■ 乾電池を使う場合

乾電池を使用する場合は、ACアダプターを外してください。

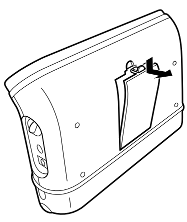
ACアダプターが接続されたままですと、電源・ボリューム調整ツマミ（POWER/VOL）を右に回しても電源が入りません。

ご注意

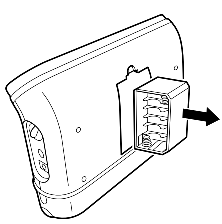
- 乾電池は、アルカリまたはマンガンの単三形乾電池をご使用ください。
- オキシライド乾電池などのオキシ水酸化ニッケル採用の乾電池は使用しないでください。
  初期電圧が異なるため、正常に動作しない場合があります。
- 種類の異なる乾電池や、新しい乾電池と古い乾電池を混用しないでください。
- 長期間本機を使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐために乾電池を取り出しておいてください。
- 消耗した乾電池を入れたままにしておきますと、腐食により本機を傷めることがあります。パワーインジケーターが赤色に点灯しましたら、古い乾電池を取り出して4本とも新しい乾電池と交換してください。

＊オキシライド乾電池は、松下電器産業株式会社の商標または登録商標です。

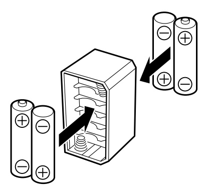
1. 乾電池カバーのツメを押しながら手前に倒して外します。



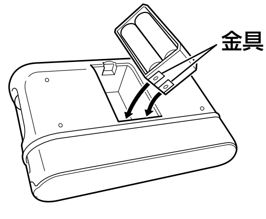
2. 中にカートリッジ型バッテリーケースが入っているので、取り出します。

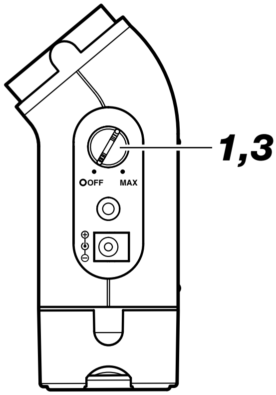


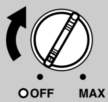
3. 左右合計4本の単三形乾電池を入れます。バネのついている方に乾電池の⊖側を入れます。



4. バッテリーケースの金具のついているところが下奥になるように本体に戻し、電池カバーを元に戻します。





1 	**電源を入れる** 電源・ボリューム調整ツマミ（POWER/VOL）を右に回してください。電源が入り、前面のパワーインジケーターが点灯します。 ！ヒント パワーインジケーターが赤く点灯している場合は、電池残量が少なくなっています。乾電池を新しいものと交換してください。
2	**機器を再生する**
3 	**音量を調整する** 電源・ボリューム調整ツマミ（POWER/VOL）でお好みの音量にします。 ！ヒント 接続する機器により出力の大きさが異なるため、本機のボリュームを最大位置にしても極端に音量が小さい場合があります。このようなときは、ポータブルCDプレーヤーなどボリュームがついている機器の場合は、プレーヤー側のボリュームを上げて適正な音量になるようにしてください。

ご注意

- 電源が入ってるときに乾電池を抜いたりACアダプターを外した場合、乾電池を戻したりACアダプターを接続し直しても音が出ません。一度、電源・ボリューム調整ツマミをOFF（オフ）の位置に戻してから、再度電源を入れてください。
- 本機を屋外でご使用になるときは、雨や雪などがかからないように十分ご注意ください。本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電、故障などの原因となる場合があります。

取り扱いについて

- 本機を設置する場所は、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光の当たる所や冷暖房器具の近く、湿気の多いところは避けてください。
- 本機は通常のご使用には十分耐えられますが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故の恐れがありますので、ご注意ください。
  ① オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
  ② ミニプラグなど、接続端子の抜き差し時のショック音
  （抜き差しは必ず本機の電源を切ってから行ってください。）
  ③ マイク使用時のハウリング
  ④ カラオケ等で使用した際の過大な音声出力

防磁設計について

一般にパソコンやテレビに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどのデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、パソコンモニターなどとの近接使用が可能となっています。ただし、設置の仕方によっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度パソコンモニターなどの電源を切り、15〜30分後に再びスイッチを入れてください。パソコンモニターなどの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合にはスピーカーをパソコンモニターなどから少しはなしてご使用ください。また近くに磁石など磁気を発生するものが置かれていますと、本機との相互作用によりパソコンモニターなどに色むらが発生する場合がありますのでご注意ください。

ご注意

テレビなどの近くに置く場合、テレビから出ている電磁波の影響でオーディオ機器の電源を切っていてもスピーカーから雑音を発生することがあります。この雑音が気になる場合は、テレビからさらにスピーカーを離してご使用ください。

お手入れについて

表面は、時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めた液に、柔らかい布を浸し、固くしぼって汚れをふきとったあと乾いた布で仕上げをしてください。
固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

困ったときは

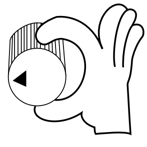
下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	● ACアダプターの差し込みが不完全。 ● ACアダプターの接続端子の差し込みが不完全。	● ACアダプターの電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。(9ページ) ● ACアダプターのプラグを本体にしっかり差し込んでください。(9ページ)
音が出ない。	● 電源・ボリューム調整ツマミが最小になっている。 ● ミニプラグがはずれている。 ● 電源が入っているときにACアダプターが外れた。または、バッテリーケースを外したり入れたりした。	● 適当な音量にしてください。(10ページ) ● ミニプラグを正しく接続してください。(7ページ) ● 電源・ボリューム調整ツマミをOFFの位置に戻し、再度電源を入れ直してください。
音が小さい。	● 電源・ボリューム調整ツマミの位置が不適切。 ● 接続している他機の出力が小さい。	● 正しい位置にあわせてください。(10ページ) ● 接続している他機のボリュームを上げてください。
片方のスピーカーからしか音が出ない。	● 入力音源がモノラル音源。	● モノ→ステレオ交換アダプターを別途ご用意ください。
ブーンというハム音が入る。	● ミニプラグの差し込みが不完全。 ● 外部のリーケージフラックス(テレビ等からの誘導雑音)	● ミニプラグをしっかり差し込んでください。(7ページ) ● 雑音源より離してください。

ご注意

低域や高域が異常に強調された特殊なソースを再生した場合、本来の信号音以外に異常な音を発生する場合があります。これは、故障ではありませんが、このような状態で長時間ご使用になると、スピーカーユニット破損の原因となりますので、音量を下げてご使用ください。

音のエチケット
楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。
特に静かな夜間には音量を下げてききましょう。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



主な仕様

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

形式：	アンプ内蔵フルレンジ·バスレフ型
入力インピーダンス：	75kΩ
入力感度：	400mV（VOL. Max時）
実用最大出力：	1.5W＋1.5W（4Ω、JEITA）
定格周波数範囲：	100Hz～50kHz
キャビネット内容積：	0.37ℓ（ケース）、0.05ℓ（アコースティックキャップ）
外形寸法：	収納時：170(W)×120(H)×54(D)mm 再生時(キャップを底に装着)：170(W)×123.5(H)×54(D)mm
質量：	400g（本体）
使用スピーカー：	3cm ドライバー　×2
外部入力端子：	アナログ入力（ステレオミニ）×1
電源：	100V（50/60Hz)（付属の専用アダプター使用時）
消費電力：	1.5W（付属の専用ACアダプター使用時）
その他：	防磁設計（JEITA）

修理について

■ 保証書

保証書は、本取扱説明書に付属しています。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、ACアダプターを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または「お客様ご相談窓口」をご覧のうえ、当社へお問い合わせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　LX-1J
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店へお越しいただくか、「お客様ご相談窓口」をご覧のうえ、当社へお問い合わせください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または「お客様ご相談窓口」をご覧のうえ、当社へお問い合わせください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または「お客様ご相談窓口」をご覧のうえ、当社へお問い合わせください。

お客様ご相談窓口

電話でのお問い合わせ：
オンキヨーコールセンター
ご購入相談、機能・取り扱い相談窓口
電話番号：050-3161-9555

- 受付時間：月〜金曜日 9：30〜17：30
  （土・日・祝日・弊社の定める休業日を除きます）

メールフォームによるお問い合わせ：
http://www.jp.onkyo.com/　から
オンキヨーホームページを開く
↓
▶サービス・サポートをクリック
↓
「メール（フォーム）によるお問い合わせ」の「PC周辺機器に関するご購入相談・機能取扱」をクリックしてください。

製品に関する最新情報などは：

ホームページアドレス
http://www.jp.onkyo.com/
http://www.jp.onkyo.com/wavio/
をご参照ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　　(　　)
メモ：

オンキヨーマーケティング株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町1-13　〒572-0028

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/
http://www.jp.onkyo.com/wavio/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　9：30〜17：30
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）

G0612-1

SN 29344475

* 2 9 3 4 4 4 7 5 *

音響映像機器保証書

持込修理

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨーマーケティング株式会社に修理をご依頼ください。

品 番		LX-1J	お買い上げ日	年　　月　　日
お客様	お名前	様	保証期間（お買い上げ日より）	本体　1 年
	ご住所　〒		取扱販売店名・住所・電話番号	
	電話番号　（　）			

●お客様へのお願い

お手数ですが、ご住所、お名前、お電話番号をわかりやすくご記入ください。

●ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書をお客様へお渡しください。

オンキヨーマーケティング株式会社　〒572-0028　大阪府寝屋川市日新町1番13号

キ リ ト リ 線

〈無料修理規定〉

本保証書は保証期間中、商品のハードウェアを保証するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはオンキヨーマーケティング株式会社にて無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨーマーケティング株式会社にご依頼ください。ご返送は弊社負担ですが、送られるときは送料をご負担ください。
3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、オンキヨーマーケティング株式会社へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   1）使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   2）お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
   3）お客様のご要望による出張修理を行う場合の出張料金
   4）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）、水掛かり等による故障および損傷
   5）一般家庭用以外（例えば、業務用の使用、車両・船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
   6）消耗品（各部ゴム、電池、レコード針、キャリングケース、イヤークッション等）の交換
   7）本書の提示がない場合
   8）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
   9）故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
7. 故障・その他による営業上の機会損失は当社では保証いたしません。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」をご覧のうえ、当社へお問い合わせください。